令和5年度学校だより
架け橋　No. 12
甲府市立山城小学校
R6 1. 9

学校教育目標
「やさしく
かしこく
たくましく」

文責：校長　小澤　和彦

3学期スタート

○3学期も　よろしくお願いいたします

新年，あけましておめでとうございます。保護者の皆様には，穏やかな新年をお迎えのことと推察いたします。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

さて，2024 年・令和６年がスタートしました。正月元日からの能登半島を中心とする大きな地震，2 日には，羽田空港における飛行機事故と，穏やかならぬスタートとなった年明けでした。甲府でも震度 3 を観測し，家族と過ごしていた私も慌ててテレビのスイッチを入れました。その時点では，まだ正確な情報が伝わってこなかったのですが，翌日からの現地からの映像を見るにつけ，被災地の方々のこれからの生活を思うとなんともやるせない気持ちになりました。「災害は忘れた頃にやってくる」学校でも再度気持ちを引き締めて災害に備え，安全・安心について取り組みを進めていきます。

子どもたちは，13 日間の楽しい冬休みを終え，気持ちを新たに登校してきました。３学期は，１～５年生 51 日間，６年生 50 日間という短い期間ですが，次の年度に向けて備える期間でもあり，卒業式を筆頭に大切な行事も控えています。『冬休みの友』の中にある「新しい年の抱負」の中にも，「勉強を頑張りたい」「友だちと仲良くしたい」「全校のみんなのお手本になるようにしたい」「山城小学校のバトンを，しっかり受け取りたい」など，３学期に向けて思いが書かれていることでしょう。3 学期は次の年度に向けての『0 学期』という言葉もあります。一人一人の子どもたちも新年を迎えるにあたってそれぞれ『こんな一年にしたい』『新しい学年になったら，こんなことをやりたい』という希望をもっています。山城小学校の子どもたちみんなが，新しいことに挑戦し，今までの自分とはちょっと違う新しい自分に変えていく，そんな一年にしていってほしいと思っています。学校の力だけでは足りずに，各ご家庭へもご協力をいただかなければならない場面が多々あると思います。学校と家庭がしっかり連携できますようよろしくおねがいいたします。

始業式の中で，子どもたちにがんばってもらいたいこととして，２つの話をしました。１つ目は自分の得意なことを伸ばし，「自分に自信を持つこと」です。頑張ればできるという成功体験を積み重ねることで「やればできる」という自信を持って欲しいということです。苦手なことはそう簡単には克服できないと思います。でも，一度や二度の失敗であきらめないで「もう一度挑戦する気持ち」を持ってほしいと思います。２つ目は「襷をしっかり渡す」ということです。今まで上級生が頑張ってきた「山城小の伝統」をそれぞれの学年にしっかり渡し，また，確実に受け取ってほしいということです。その伝統に「自分たちの新しい何か」を加えて，さらに新たな伝統をつくっていってほしいと思っています。

そんな子どもたちの「がんばろう」という気持ちを後押ししてあげるのが，学校や家庭の大切な役割だと思います。子どもたちが，目標に向かって一歩一歩着実に前進できる，そんな 3 学期になることを願っています。